

2020年夏に判明した脳腫瘍の摘出手術は成功裏に終わり、その後は復帰に向け度重なる治療と入退院を繰り返しながらハビの発表です。

手術後も淡々と充実した日々

「2020年夏に判明した脳腫瘍の摘出手術は成功裏に終わり、その後は復帰に向け度重なる治療と入退院を繰り返しながらハビの発表です。

本当に大切な人が亡くなつたとき世界は色を失つてしまつ。そう、松本隆さんが『君は天然色』で書いた詞のように。

サディスティック・ミカ・バン

ドやYMOなどで世界的に活躍されたミュージシャンの高橋幸宏さんが1月11日に亡くなりました。享年70歳。死因は、誤嚥性肺炎との発表です。

ドクター和の

数多のアーティストが心から追悼の言葉を述べています。あらためて、この人が音楽界にどれほど影響を与えてきたのかがわかりました。そして坂本龍一さんは、コメントを発表せず代わりに(1月27日現在)灰色一色の画像をTwitterに投稿されました。

本当に大切な人が亡くなつたとき世界は色を失つてしまつ。そう、松本隆さんが『君は天然色』で書いた詞のように。

高橋幸宏



290

ミュージシャン

高橋幸宏



長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

20~30人といわれています。頭痛や嘔吐(おうと)、身体片側の麻痺や痺れ、ふらつき、言葉が出てこない、片目が見えづらくなる等の初期症状があります。

脳梗塞や脳出血のときとほぼ同じ症状ですが、脳腫瘍の場合には元より家族親族と最善を尽してまいりました。なによりも携わっていただいた医療関係者の皆様に深く感謝致します」と妻の喜代美さんがコメントを発表しています。

昨年11月よりは自宅にて療養しておりましたが、年末から容態が悪化し帰らぬ身となりました。本人は元より家族親族と最善を尽しましたが、頭痛や嘔吐(おうと)、身体片側の麻痺や痺れ、ふらつき、言葉が出てこない、片目が見えづらくなる等の初期症状があります。

高橋さんは2020年の手術と治療を経て退院した後、病状の経過を詳しく説いてください。

高橋さんは2020年の手術と治療を経て退院した後、病状の経過を詳しく説いてください。

過去を時々Twitterで報告されていました。淡々と治療に向き合い、淡々とお仕事をされていた様子です。また、家族に子犬を迎えた優しく彩られた軽井沢の日々の中、一緒に散歩する写真をアップすることも。

大病をされた後に、犬や猫を飼う人は結構多いです。散歩に出かけたり童心に帰つて戯れる時間は、生きる希望を与えてくれます。何より笑いが生まれます。2021年5月のTwitterではこんなつなぎがありました。

「過去よりも、たった今よりも、1時間後の方が新しくて面白い何かがあると思っている、じゃ無ければ今までの自分が嘘になります。いや、なるな」

充実した日々であることがうかがえる言葉です。そして最後のつぶやきは約半年前の昨年6月。

「みんな、本当にありがとう。fromユキヒロ#allyouneedislove #愛こそすべて #ありがとう」

愛と音楽に満ちた人生に拍手を。